

特別賞

「木への恩返し」

朝日中学校 高橋 綾音

私たちが生まれるもつと昔、日本にはたくさんの木や森でいっぱいでした。しかし、今の日本（特に都心部）には木がなく、森もありません。むしろ、木が切り倒され、都心部でたくさん機械を使い二酸化炭素をたくさん出し、地球温暖化と言う厳しい現実には直面しています。そんな今、温暖化対策として屋上の緑化、グリーンカーテンを作るなど様々な対策に木（緑）は役に立っています。木には、光合成と言う働きがあります。その光合成は植物特有の働きで太陽の光をつかったものです。二酸化炭素を私たちが生活するために必要な酸素に変える働きがあります。

二酸化炭素は地球温暖化の原因の一つでもあります。そのため、木は地球温暖化対策に利用されています。木は人々の暮らしになくてはならないものです。また、木には他にもいろいろな役割があります。まず一つ目は、葉が暑い日差しをさえぎることです。日差しをさえぎることは直射日光に当たらないことになるので、体感温度もぐっと下がり、また蒸散によって町中よりも涼しい空間が作り出されま

す。例えば阪神・淡路大震災では、ビルや高速道路が倒れるなか、昔からあった樹木は倒れなかったそうです。樹木が傾いた家を支え、中の人間を守った例もあったそうです。他にもたくさん役割りがありますが、このように、木は私たちの生活を守り、命を守り、そして、地球も守っています。もしも、地球に完全に木や森がなくなってしまうと、私たちは生きることができなくなってしまうし、地球自体がなくなってしまうかもしれません。そうならないためにも、もつとたくさん木を植えて、育て、木を、自然を大切にすることが私たちが木にできる精いっぱい恩返しだと思います。